中央博「きのこワンダーランド」展に ご協力ありがとうございます

吹春 俊光

2017 年「きのこワンダーランド」展、ボランティアでお手伝いいただき、ありがとうございます。昨年の会報 33 号と当会ホームページ等で、きのこ展のボランティアを募集しました。金城典子会長にも号令をかけていただき、沢山の談話会の方々にあつまっていただきました。そして 2017 年 7 月 22 日から 12 月 27 日まで、１期と２期にわけ、長い長い半年におよぶ展示会が開催されたのでした。ボランティアとして御参加いただいた方々、ほんとうに、ありがとうございます。お一人お一人のお名前をあげて、感謝を申し上げないといけないのですが、申しわけありません。本当にありがとうございます。

ボランティアの活動の中心は展示室で「きのこ図鑑」というワークシートの来館者対応でした。ワークシートの問いとして、ちょっと変？ 設問が間違えているのではないか？と最後まで言われ続けたワークシートを、主に子どもさん相手に、創意工夫、あの手この手で、実施いただきました。展示の解説をやっていただいた方もいらっしゃいます。各種

ワークシートに挑戦する子どもたち

イベントもお手伝いいただきました。皆様、ありがとうございます。10 月 7、8 日には、飲食店も並ぶ、当館としては初めてのオクトーバーフェスト、というお祭りを開催し、その中で、はじめての「チバきのこ大祭」も当会の主催で実施しました。

千葉県立中央博物館としては、開館以来３回目のきのこ展でした。最初のきのこ展は 1994 年（平成 6 年）、次は 2005 年（平成 17 年）、そして 2017 年です。ほぼ 10 年ごとにきのこ展を開催したことになります。この２回目のとき、ちょうど山と渓谷社から『きのこワンダーランド』（写真：大作晃一、文章：私、編集：山田智子）という本が出版され（2004 年）、そのタイトルを拝借して展示会を開催しました。そして、今回の展示も、同じタイトルで、主催者側としてはバージョンアップをしたつもりの、半年という長期の、しかも有料の（通常入館料に企画展分を上乗せして）展示会となりました。

約半年に及ぶ展示は、中央博物館でも初めての経験でした。生態園でも「きのこ展」を

同時開催しました。入館者数は本館 36,652 人（有料 13,136 人）、生態園まで入れると 60,888 人の来館者を迎えることができました。期間中の統計では前年度比 160%の来館者となり、地味が取り柄の植物系展示会としては、異例に多数の入館者を迎えることができました。開催する前は、開催期間が長いと高額の入館料が続くため、来館者減となるのでは、と危惧されたのですが、杞憂でした。第１期のタイトルは「子どもも楽しめる」としたためか、夏休み期間の１期と２期をとおして、沢山の小学生に見ていただきました。この、小学生が多かった、という点も、通常の展示会には無い傾向でした。ほぼ例年、入場者収益も、いつも予算額を下回るのですが、今回は、これだけ来館者を集めますと、言ったとおりの来館者を迎えることができた点も高く評価されました。ひとえにお手伝い頂いた皆様のおかげです。

展示の趣旨は、「きのこはすごい」、「きのこは素敵」です。森のなかのきのこの働きを知っていただき、きのことつきあう楽しさを知って頂くための展示でした。加えて、博物館が、開館以来収集した、房総のきのこの特徴をご紹介しました。その活動の初期の段階で発足（1991 年）したのが「千葉菌類談話会」です。県内各地からきのこ資料を収集することができたのは、談話会のおかげです。平成元年の開館時、房総の人はハツタケが好き、くらいしかわかっていなかった房総のきのこ文化でした。それが、大量の収集物とともに、勝浦の朝市のきのこ、房総の里山ときのこ、房総の〇〇御三家、など、様々な角度から房総のきのこ文化を明らかにすることができたのではないかと思っております。

臨時イベントでのボランティア活動

博物館の展示会は、デパートの展示会のように、来館者が集まれば、それでよいというものもなかにはあります。実際、入館者はトップクラスだったけど、朝日新聞社の記者さんに「デパートの展示みたいで紹介する展示物がない」と言われた展示会もあります。展示会はビジネスだ、というのもよくわかります。しかしながら、集客だけを考えた展示会は、ときに、博物館の活動がみえてこないような、オリジナリティの無い展示になりがちです。今回の展示は、博物館が独自にあつめたコレクションが元になっており、房総のきのこ文化を浮き彫りにする展示会としても成功したのではないか、と思っております。

また、１期と２期、それぞれに、マトリョーシカなどの世界雑貨、和菓子の型、弁当の包み紙、そして日用品のバッグにいたるまで、大量のきのこ関連グッズも同時に展示することができました。知る人ぞ知る、某コレクションを元にしたものです。圧倒的なグッズ・コレクションは、例えば、ドイツを発祥とするベニテングタケ文化が世界制覇を果たし、日本に伝わった姿も明らかにしました。自然物だけでは語り得ない、人がこしらえたものをとおしてきのこ文化を見るという、前代未聞のコンテンツを加えることができました。わたしも圧倒的な収集物が、未知の地平を切り開く姿を、まざまざとみることができたのでした。ありがとうございます。

申し上げたいことは、いろいろとあるのですが、これも、談話会の皆さんとともに、きのこ狩りをしながら、房総のきのこを調べることができたおかげです。今回、ボランティアとして活動いただいたみなさま、会の発足時から、博物館に奉納するように、日ごろからきのこを集めていただいた皆様、ほんとうにありがとうございました。